

## 第4学年 総合的な学習の時間

### つきたい力

- 身近な自然や対象に興味・関心を持ち、課題を見つける力
- 解決方法の見通しを持ち、これまでに学んだ多様な方法を用いて、調べたり作ったりする力
- 友だちの考えと関係付けて考える力
- 自分なりに調べたことを相手に分かりやすく伝える力
- 生活の取り組みを振り返り、生活の中で考える力

### 第4学年の主な学習内容

学期	単元名	学 習 活 動
前期	オリエンテーション	「総合的な学習の時間」とは何をどのように学習するのかを知る。
	矢野の昔へタイムスリップ！！ ～矢野の昔を学ぼう～	<p><b>レトロ探検をしよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 矢野町の史跡や歴史について興味を持つ。</li> </ul> <p><b>矢野の歴史を聞こう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の方から矢野の歴史についての話を聞く。</li> </ul> <p><b>新聞にまとめよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レトロ探検や地域の方の話から分かったことを新聞にまとめる。</li> </ul>
	地域安全マップをつくらう	地域の危険な場所や安全な場所をさがして、グループで協力して安全マップづくりに取り組み、安全への意識を高める。
後期	矢野の昔へタイムスリップ！！ ～矢野の昔を調べよう～	<p><b>矢野の昔を調べよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の調べたいことについてテーマを設定する。</li> <li>・ 活動計画を立てる。</li> <li>・ 課題について自分なりの方法で調べる。 (デジカメ、インターネットの利用)</li> <li>・ 調べたことを、コンピュータを使って分かりやすく、方法を工夫してまとめる。</li> <li>・ 中間発表会をする。</li> <li>・ 中間発表会をもとに、見直しをする。</li> <li>・ お世話になった人を招待して、発表会を開く。</li> <li>・ 今までの活動を振り返る。</li> </ul>
	聴覚障害について考えよう	聴覚障害についてビデオを見たり、ボランティアの方の話を聞いたりして学び、自分にできることを考える。

後期	自分を見つめよう！タイムトンネルの旅 ～1/2成人式～	<p><b>自分の10年を振り返ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誕生から現在までのことを、自分なりに工夫して自分史絵本にまとめる。</li> <li>・ いろいろな経験を通して、自分が成長してきたことに気付く。</li> <li>・ 10年後の自分を、希望を持って考える。</li> </ul> <p><b>10年後の自分にメッセージを贈ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝える内容や贈る方法について積極的に考える。</li> <li>・ 自分の思いを大切にメッセージを作る。</li> </ul> <p><b>1/2成人式をしよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1/2成人式をみんなで祝う。</li> <li>・ いろいろな人の支えがあり今の自分があることを再認識し、これからも家族や友だちと手をつないで前向きに生きていこうとする気持ちを持つ。</li> </ul>
----	--------------------------------	---

### 評価の観点・方法

- (1) 「総合的な学習の時間」では、数値になどによる評価は行いません。学年の各観点別の到達目標に沿い、児童の学習への意欲や態度、優れている点、進歩の状況などを個人内評価としてとらえ、記述の形で評価していきます。
- (2) 「総合ファイル」にためられたワークシート類、発表や話し合いの様子などから評価したり、自己評価や相互評価を活用したりします。
- (3) 自己評価とは、子どもが自分で自分の能力や態度を知り、自ら足りない部分を補い、長所を伸ばせるような評価をすることです。その評価の過程では、子どもと教師がパートナーとなって、教師による修正、励まし、援助が行われることにより、より正確な子どもの自己評価をうながすことができます。

### 特色ある学習方法

- (1) 観察や調査などの体験的な活動を十分に仕組むことで、対象への興味・関心を持たせたり、感じた不思議さやすばらしさから自分なりの課題を見つけさせたりと意欲的に学習に取り組めるようにします。
- (2) 子どもたちが自ら学習を進めていくことができるようにするために、学習の手引きを作成します。また、活動への見通しをもてるように、ふりかえりカードやワークシートも活用します。
- (3) 情報機器や情報ネットワークを活用します。
- (4) 地域の方やゲストティーチャー、保護者の方などの協力を得て、児童が主体的に調査活動に取り組み、広がりのある学習活動が展開できるようにします。
- (5) 地域の方や保護者やお世話になった方を招待して発表会を開き、学習の成果をより多くの方に発信します。

### 使用教材等

総合的な学習の時間では児童が見るもの、触れるもの、耳にするものすべてが教材となりうると言っても過言ではありません。自分の課題を追究するために、様々な調査活動を行えるよう学習の手引きでも紹介するとともに、その活用の仕方についても丁寧に指導していきます。

### 留意事項

総合的な学習の時間は、地域や学校、子どもたちの実態に応じ、学校が創意工夫を生かして特色のある教育活動を行うことができる時間です。4年生では、「タイムトンネルの旅」をテーマに、自分たちの住む地域の歴史や、自分の歴史や未来について学習していきます。

そのため、地域に出かけていきインタビューしたり、保護者の方や子どもたちに関わってくださる方にお話をうかがったりする活動が多くなります。また、子どもたちの安全に対する配慮をしていただくための「安全ボランティア」をお願いしたりすることもあると思いますが、児童の願いや思いが実現できますようご支援、ご協力をお願いいたします。